

第2章 店舗形態別価格

この章では、構造編の店舗形態別価格調査の結果及び店舗別価格情報を特別集計（後述のコラム参照）した結果を用いて、店舗形態による価格水準の違いに加え、価格の広がりや価格の動きなどを解説する。

店舗形態別価格調査は、スーパーや一般小売店などの店舗形態別の価格を把握するため、道府県庁所在市において、スーパー以外でも価格調査が可能な品目の中から9品目を選定の上、調査を実施している。

なお、東京都は、動向編調査において様々な店舗形態の価格が得られており、構造編では調査地域としていない。

構造編の調査価格に加え、動向編で調査している全ての都道府県庁所在市の店舗の価格も利用して集計することから、構造編の調査店舗は、比較対象とする店舗形態のうち、動向編ではあまり価格調査を行っていない形態の店舗の中から代表的な店舗を中心に構成している。動向編が、価格の代表性という観点から店舗形態に関わりなく販売数量等を基準として店舗を選定している一方、構造編の店舗は店舗形態の指定を優先しているという点で異なっている。

この章の構成は以下のとおりである。

第1節では、スーパーと一般小売店の比較について解説する。

第2節では、スーパーと量販専門店の比較について解説する。

1 スーパーと一般小売店の比較

- ◆ うるち米、コロッケ及びビールはスーパーの価格が安い
- ◆ 豚肉は一般小売店の価格が安い
- ◆ 平成 26 年分結果と比較すると、うるち米及びビールで価格水準の差が拡大

スーパーと一般小売店の価格差を比較することを目的として調査している 4 品目（うるち米^(注1)、豚肉、コロッケ及びビール）の年平均価格^(注2)をみると、うるち米、コロッケ及びビールは、スーパーの価格が安くなっている。一方、豚肉は一般小売店の価格が安くなっている。

また、スーパーの年平均価格を 100 として一般小売店の価格水準をみると、ビールで 118.0 と最も水準の差が大きくなっている。

平成 26 年分結果と比較すると、うるち米及びビールは価格水準の差が拡大している一方、コロッケは縮小している^(注3)。

なお、うるち米は、スーパー、一般小売店共に年平均価格が下落しており、前年の価格が安かったスーパーの下落率が一般小売店と比較して高かったため、価格水準の差が拡大している。

（表 2-1、図 2-1）

（注1）うるち米は、単一原料米（コシヒカリ以外）を調査している。

（注2）都道府県庁所在市（全 47 市、東京都については東京都区部）の年平均価格。

（注3）平成 26 年との比較では、平成 27 年に銘柄改正を実施した豚肉は単純に比較できないため、記述していない。

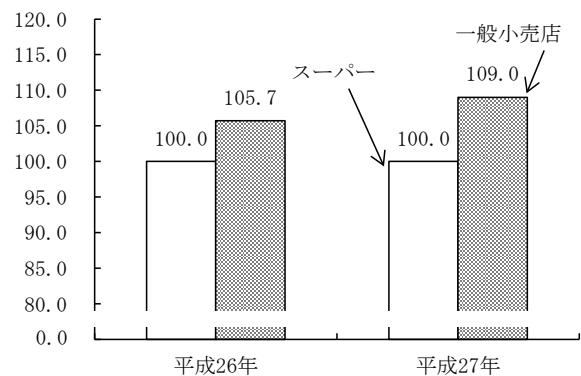
表 2-1 調査対象 4 品目の店舗形態別平均価格及び価格水準

品目（単位）	店舗形態	平成 27 年		平成 26 年		平成 26 年との比較 (27 年 - 26 年)	
		年平均 価格(円)	価格水準 (注4)	年平均 価格(円)	価格水準 (注4)	年平均価 格の変化 (円)	年平均価 格の変化 率(%)
うるち米（1袋（5kg））	スーパー	1,822	100.0	1,994	100.0	-172	-8.6
	一般小売店	1,986	109.0	2,108	105.7	-122	-5.8
豚肉（100g） (平成 26 年：ロース、平成 27 年：バラ)	スーパー	231	100.0	257	100.0	-26	-10.1
	一般小売店	193	83.5	232	90.3	-39	-16.8
コロッケ（100g）	スーパー	98	100.0	94	100.0	4	4.3
	一般小売店	114	116.3	111	118.1	3	2.7
ビール（1パック（350ml×6缶））	スーパー	1,119	100.0	1,127	100.0	-8	-0.7
	一般小売店	1,320	118.0	1,312	116.4	8	0.6

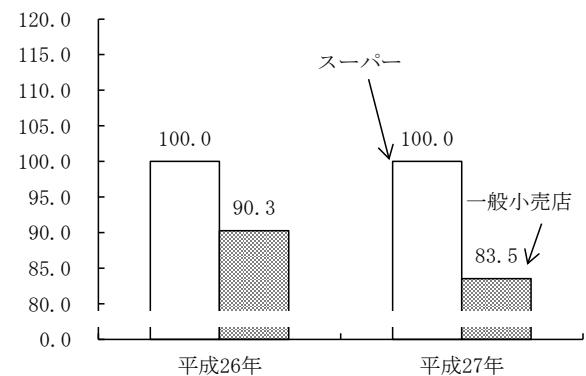
（注4）価格水準は、各年のスーパーの年平均価格を 100.0 とした際の値

図2-1 調査対象4品目の店舗形態別価格水準（スーパーの年平均価格=100）

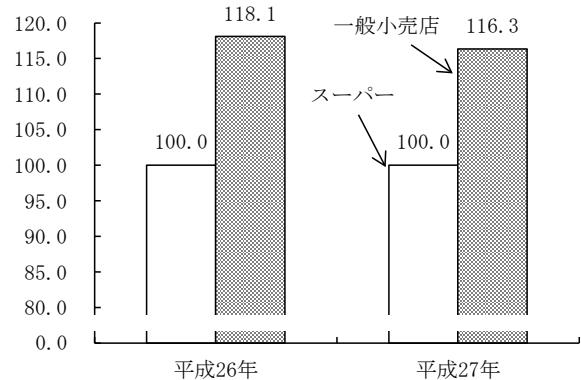
＜うるち米＞



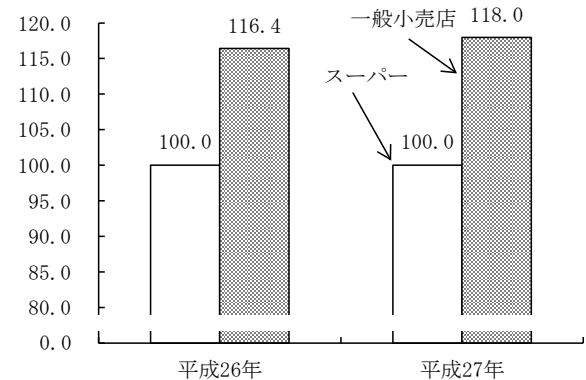
＜豚肉＞



＜コロッケ＞



＜ビール＞



2 スーパーと量販専門店の比較

- ◆ 全ての調査品目で量販専門店の価格が安く、特にドリンク剤とティッシュペーパーが安い
- ◆ 平成 26 年分結果と比較すると、ティッシュペーパー及び紙おむつで価格水準の差が拡大

スーパーと量販専門店の価格差を比較することを目的として調査している 5 品目（ティッシュペーパー、洗濯用洗剤、ドリンク剤、紙おむつ及びシャンプー）の年平均価格をみると、全ての品目で量販専門店の価格が安くなっている。

また、スーパーの年平均価格を 100 として量販専門店の価格水準をみると、ドリンク剤が 91.4 と最も水準の差が大きく、次いで、ティッシュペーパーが 93.0 となっている。一方、その他の品目は比較的水準の差が小さく、スーパーと量販専門店の価格の違いは僅かである。

平成 26 年分結果と比較すると、ティッシュペーパー及び紙おむつは価格水準の差が拡大している一方、ドリンク剤は縮小している^(注5)。

（表 2-2、図 2-2）

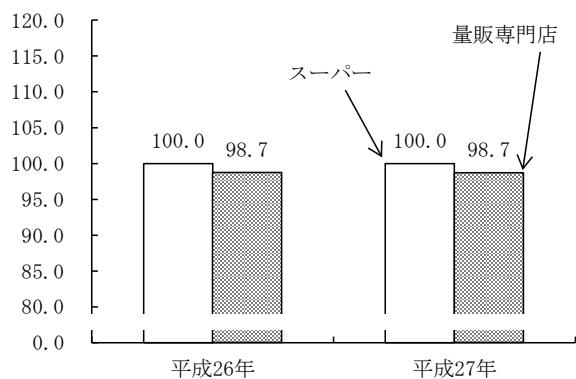
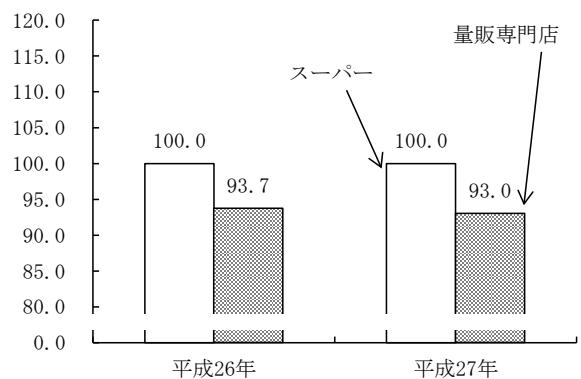
（注5）平成 26 年との比較では、平成 27 年に銘柄改正を実施した洗濯用洗剤及びシャンプーについては単純に比較できないため、記述していない。

表 2-2 調査対象 5 品目の店舗形態別平均価格及び価格水準

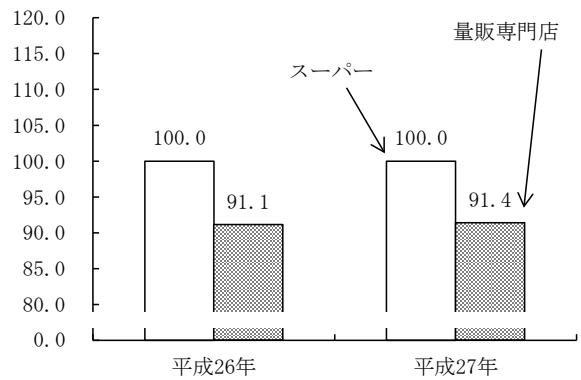
品目（単位）	店舗形態	平成 27 年		平成 26 年		平成 26 年との比較 (27 年 - 26 年)	
		年平均 価格(円)	価格水準 (注6)	年平均 価格(円)	価格水準 (注6)	年平均価 格の変化 (円)	年平均価 格の変化 率(%)
ティッシュペーパー (1 パック (320 枚 (160 組) × 5 箱))	スーパー	272	100.0	270	100.0	2	0.7
	量販専門店	253	93.0	253	93.7	0	0.0
洗濯用洗剤 (1 kg (液体))	スーパー	303	100.0	312	100.0	-9	-2.9
	量販専門店	299	98.7	308	98.7	-9	-2.9
ドリンク剤 (1 箱 (100ml × 10 本))	スーパー	1,087	100.0	1,079	100.0	8	0.7
	量販専門店	993	91.4	983	91.1	10	1.0
紙おむつ (大人用, 10 枚)	スーパー	702	100.0	702	100.0	0	0.0
	量販専門店	690	98.3	695	99.0	-5	-0.7
シャンプー (1,000ml)	スーパー	1,436	100.0	1,245	100.0	191	15.3
	量販専門店	1,425	99.2	1,233	99.0	192	15.6

（注6）価格水準は、各年のスーパーの年平均価格を 100.0 とした際の値

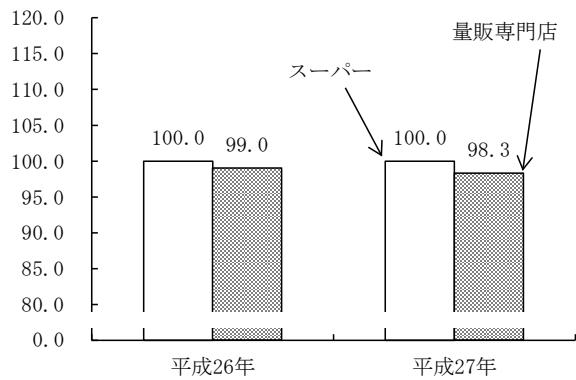
図2-2 調査対象5品目の店舗形態別価格水準（スーパーの年平均価格=100）
 <ティッシュペーパー>



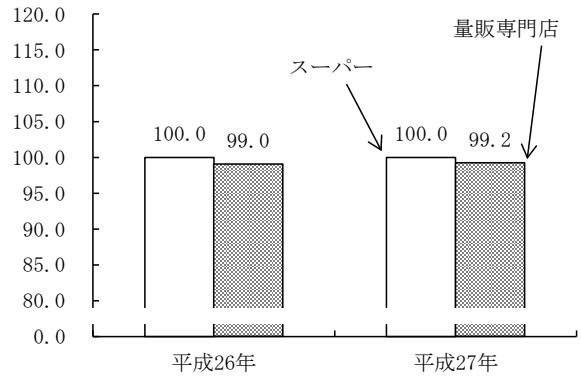
<ドリンク剤>



<紙おむつ>



<シャンプー>



【コラム 1】価格分布の状況について

ここでは、平成 27 年に調査した店舗の価格情報を利用して価格分布（10%点、25%点、50%点、75%点及び 90%点）及びその他の統計量（各統計量に関する説明は 33 ページ参照）に関する特別集計の結果について紹介する。

なお、年の途中で銘柄改正を行った場合は、銘柄改正月以降の月に限定して集計している。

（1）スーパーと一般小売店の比較

- ◆ 全ての調査品目について、スーパーに比べ一般小売店の価格の分布の広がりが大きい
- ◆ 価格の散らばり度合いはスーパー、一般小売店共にコロッケが大きく、ビールが小さい

スーパーと一般小売店の比較を目的とした 4 品目について、それぞれ店舗形態別に 10%点、25%点、50%点、75%点、90%点の価格及び四分位範囲（25%点と 75%点の差）を比較することにより、店舗形態別の価格分布の状況をみる。

うるち米、コロッケ及びビールは、全ての%点においてスーパーの価格が安くなっている。一方、豚肉は、全ての%点において一般小売店の価格が安くなっている。

また、四分位範囲により価格の広がりをみると、全ての品目において、スーパーに比べ一般小売店の方が大きくなっている。

（表 2-3、図 2-3）

次に、四分位分散係数により価格の散らばり度合いをみると、スーパー、一般小売店共に、コロッケの価格の散らばり度合いが最も大きく、ビールが最も小さくなっている。

（表 2-3、図 2-4）

表 2-3 スーパーと一般小売店の価格分布に関する統計量

	うるち米		豚肉		コロッケ		ビール	
	スーパー	一般 小売店	スーパー	一般 小売店	スーパー	一般 小売店	スーパー	一般 小売店
90%点（円）	2,138	2,350	267	248	126	153	1,210	1,440
75%点（円）	1,978	2,164	248	213	111	134	1,130	1,387
50%点（円）	1,814	1,980	228	188	98	113	1,100	1,320
25%点（円）	1,706	1,814	212	170	86	94	1,088	1,250
10%点（円）	1,544	1,680	197	151	69	78	1,077	1,177
平均価格（円）	1,837	1,997	230	193	98	114	1,120	1,320
四分位範囲（円）	272	350	36	43	25	40	42	137
四分位分散係数 ^(注)	0.07	0.09	0.08	0.11	0.13	0.18	0.02	0.05
価格数	1,711	1,160	1,688	1,197	1,709	1,168	1,065	1,082

（注）四分位分散係数は、小数第三位を四捨五入している。

図2-3 スーパーと一般小売店の価格分布図

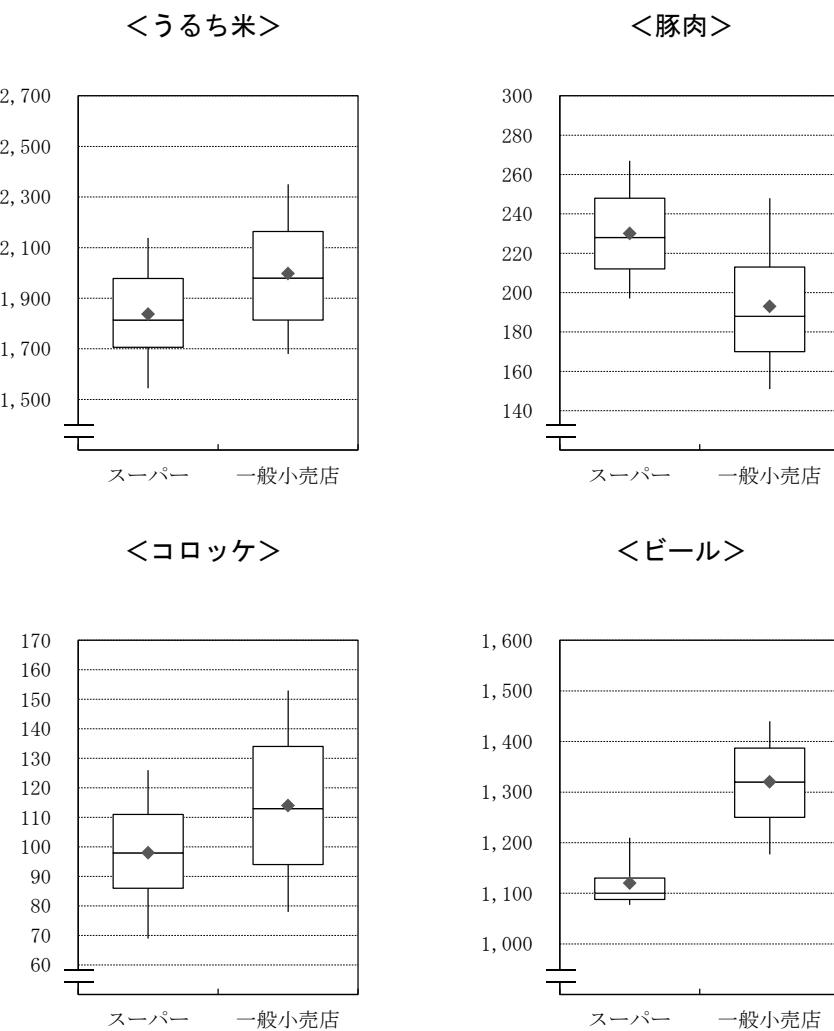
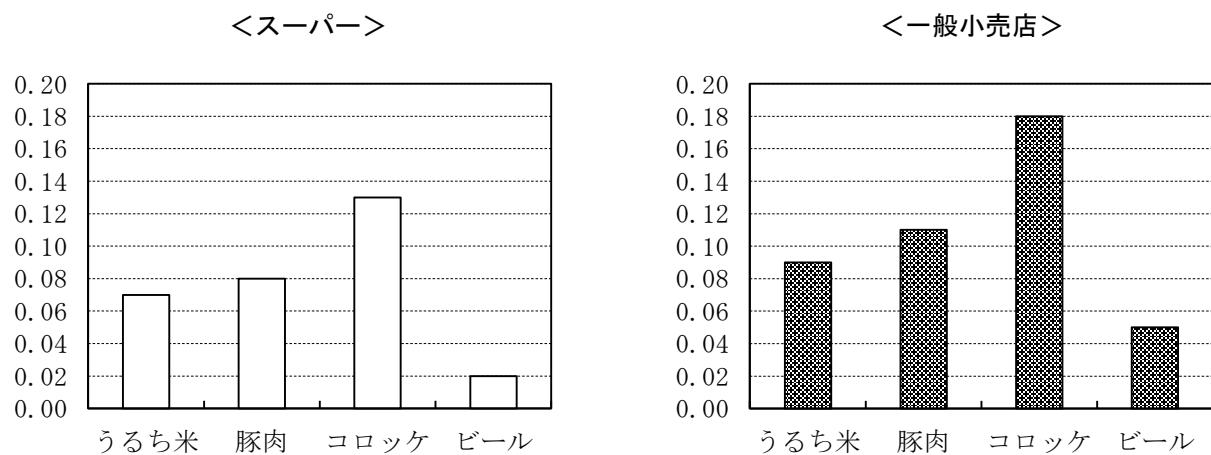


図2-4 スーパーと一般小売店の価格の散らばり度合い（四分位分散係数）



(2) スーパーと量販専門店の比較

- ◆ 価格分布はスーパー、量販専門店で異なる傾向が見られる
- ◆ 価格の散らばり度合いはスーパー、量販専門店共に洗濯用洗剤が大きい

(1) と同様に、スーパーと量販専門店の比較を目的とした5品目について、店舗形態別の価格分布の状況を見る。

ティッシュペーパーは、いずれの%点においても量販専門店の価格はスーパーの価格よりも安くなっている。また、四分位範囲により価格の広がりをみると、スーパーに比べ量販専門店が小さくなっている。

洗濯用洗剤は、量販専門店の50%点と25%点の幅がスーパーに比べ大きくなっています。四分位範囲による価格の広がりをみても、量販専門店が大きくなっている。

ドリンク剤は、いずれの%点においてもスーパーに比べ量販専門店の価格が安くなっています。また、価格の広がりはスーパーに比べ量販専門店が小さくなっています。特に量販専門店は、1,000円前後の価格帯に集中している。

紙おむつは、量販専門店の90%点の価格がスーパーに比べ安くなっているものの、それ以外は、似た分布状況となっている。

シャンプーは、量販専門店の25%点の価格がスーパーに比べ安くなっているものの、それ以外の%点では、スーパーと量販専門店の価格は一致している。また、四分位範囲による価格の広がりをみると、量販専門店が大きくなっている。

(表2-4、図2-5)

次に、四分位分散係数により価格の散らばり度合いをみると、スーパー、量販専門店共に洗濯用洗剤が最も大きくなっています。一方、スーパーはドリンク剤及び紙おむつ、量販専門店はドリンク剤が最も小さくなっています。

(表2-4、図2-6)

表2-4 スーパーと量販専門店の価格分布に関する統計量

	ティッシュ ペーパー		洗濯用洗剤		ドリンク剤		紙おむつ		シャンプー	
	スーパー	量販 専門店	スーパー	量販 専門店	スーパー	量販 専門店	スーパー	量販 専門店	スーパー	量販 専門店
90%点（円）	306	286	357	361	1,280	1,027	785	739	1,555	1,558
75%点（円）	287	266	330	334	1,111	1,009	727	726	1,534	1,534
50%点（円）	268	248	293	304	1,028	1,002	680	686	1,534	1,534
25%点（円）	246	235	264	252	1,008	980	663	672	1,347	1,262
10%点（円）	236	223	240	244	951	906	625	625	1,171	1,174
平均価格（円）	271	252	300	301	1,087	991	700	692	1,440	1,428
四分位範囲（円）	41	31	66	82	103	29	64	54	187	272
四分位分散係数 ^(注)	0.08	0.06	0.11	0.13	0.05	0.01	0.05	0.04	0.06	0.09
価格数	1,389	1,366	517	445	924	937	1,437	1,424	805	778

(注) 四分位分散係数は、小数第三位を四捨五入している。

図2-5 スーパーと量販専門店の価格分布図
 <ティッシュペーパー> <洗濯用洗剤> <ドリンク剤>

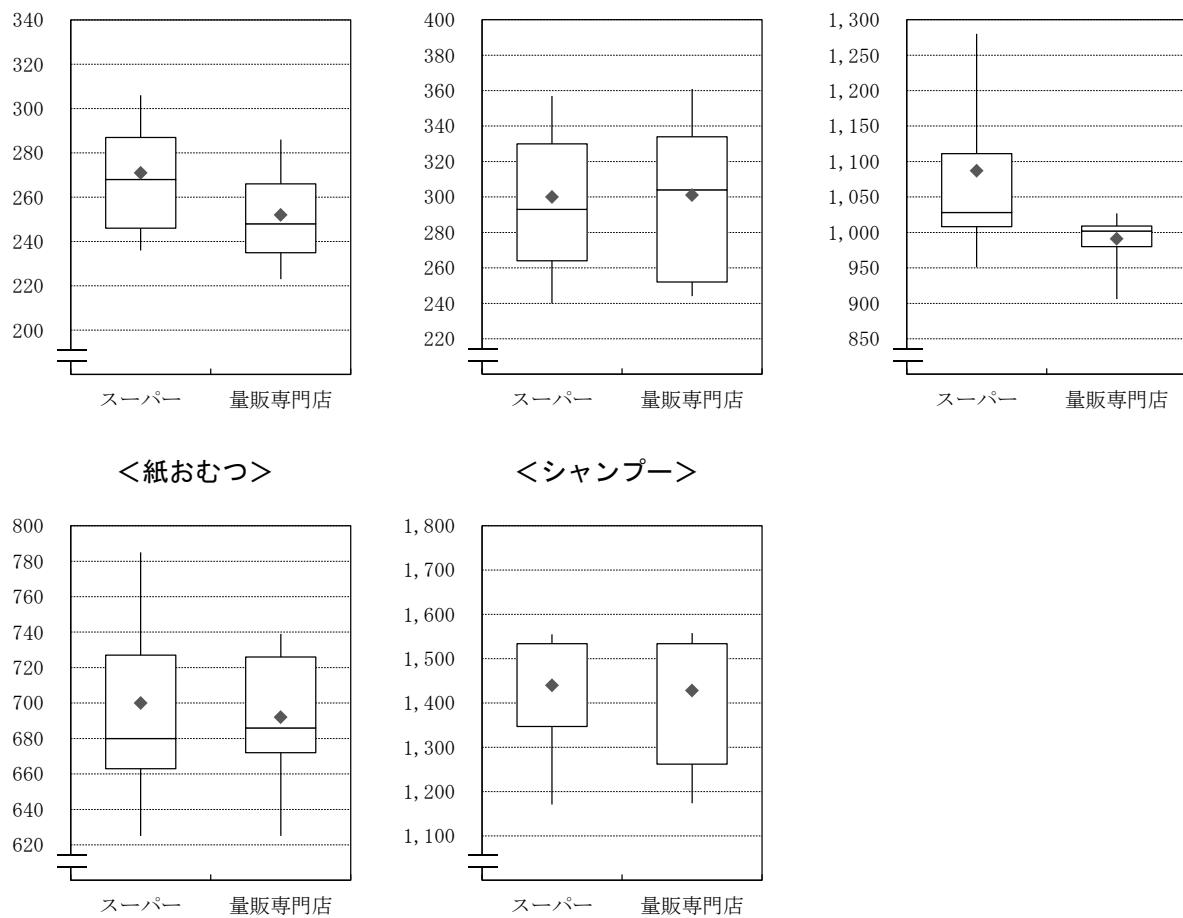
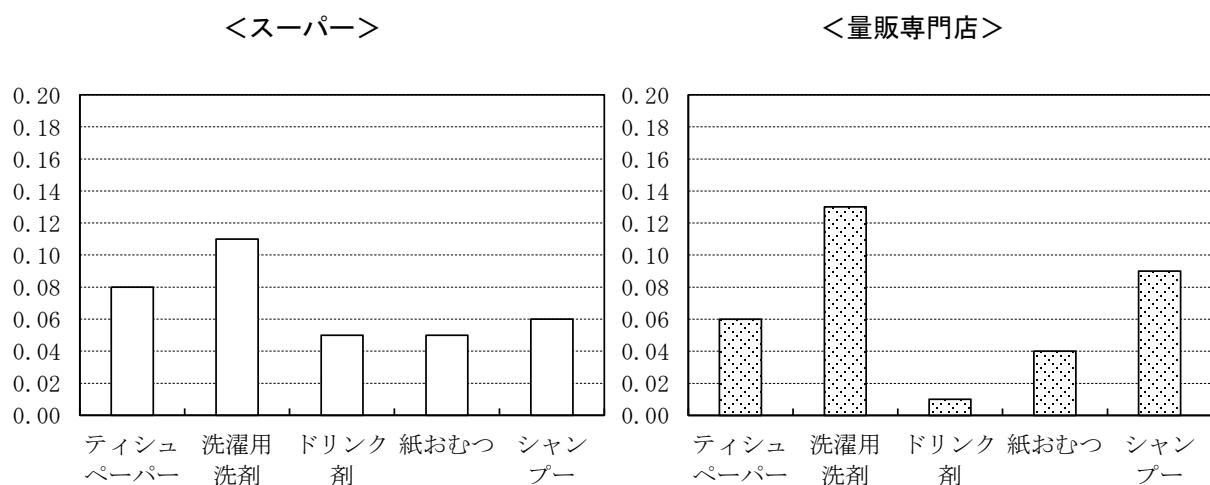


図2-6 スーパーと量販専門店の価格の散らばり度合い（四分位分散係数）



(各統計量の説明)

・平均価格

特別集計における平均価格は、平成27年の偶数月に調査した店舗の価格を単純平均したものである。そのため、店舗形態別価格調査の統計表に掲載されている年平均価格とは必ずしも一致しない。

・%点

調査された店舗の価格を価格の低い方から並べ、低い方から数えて25%、50%、75%に当たる点を25%点、50%点、75%点として求めている。25%点は第1四分位点、50%点は第2四分位点、75%点は第3四分位点という。

なお、価格分布図を描画するため、10%点、90%点も求めている。

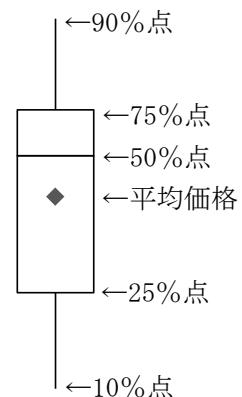
・価格分布図

価格分布図は右のとおり。この図により、平均価格や各%点の水準をみることができる。価格の広がりは、75%点と25%点の差（四分位範囲といふ。）をみるとこととし、この差が小さければ価格の広がりが小さく、大きければ価格の広がりが大きいといえる。

なお、これらの点のうち、二つ又はそれ以上の点が一致することもあり得る。

・四分位分散係数

四分位範囲の2分の1を求め、それを50%点で除した値。これにより、価格の散らばり度合いを品目間で比較することが可能となる。



【コラム2】店舗形態別の価格の動き

ここでは、各調査品目について、店舗形態別価格調査が開始された平成25年2月のスーパーの平均価格（全都道府県庁所在市平均）を100として、25年から27年までの3年間の各調査月（偶数月（2月、4月、6月、8月、10月及び12月））の平均価格を指数化し、店舗形態別の価格の動きを確認する。

（1）スーパーと一般小売店の比較

うるち米は、スーパーが27年8月まで、一般小売店が27年4月まで価格が下落傾向となっていたが、それぞれ10月、8月に上昇に転じている。また、価格水準差^(注1)は、27年8月に9.1ポイントと最大となっている。

豚肉は、スーパーが27年6月に、一般小売店が27年4月に過去最高水準（それぞれ115.8、100.9）となったが、以降は下落又は横ばいが続いている。また、価格水準差は、27年12月に-15.5^(注2)ポイントと最大となっている。

コロッケは、スーパー及び一般小売店共に価格は上昇傾向となっているが、26年後半から、一般小売店の価格上昇がスーパーに比べ緩やかになっている。その結果により、26年4月の税率改定^(注3)以降、同年8月まで最大18.6ポイントあった価格水準差が27年12月には15.3ポイントにまで縮小している。

ビールは、スーパーの価格が税率改定以降、緩やかに下落しており、27年後半は税率改定前の価格と同水準にある。一方、一般小売店の価格は、税率改定以降、横ばい傾向となっている。また、それらの結果により、価格水準差は27年8月に18.7ポイントと最大となっている。

（図2-7）

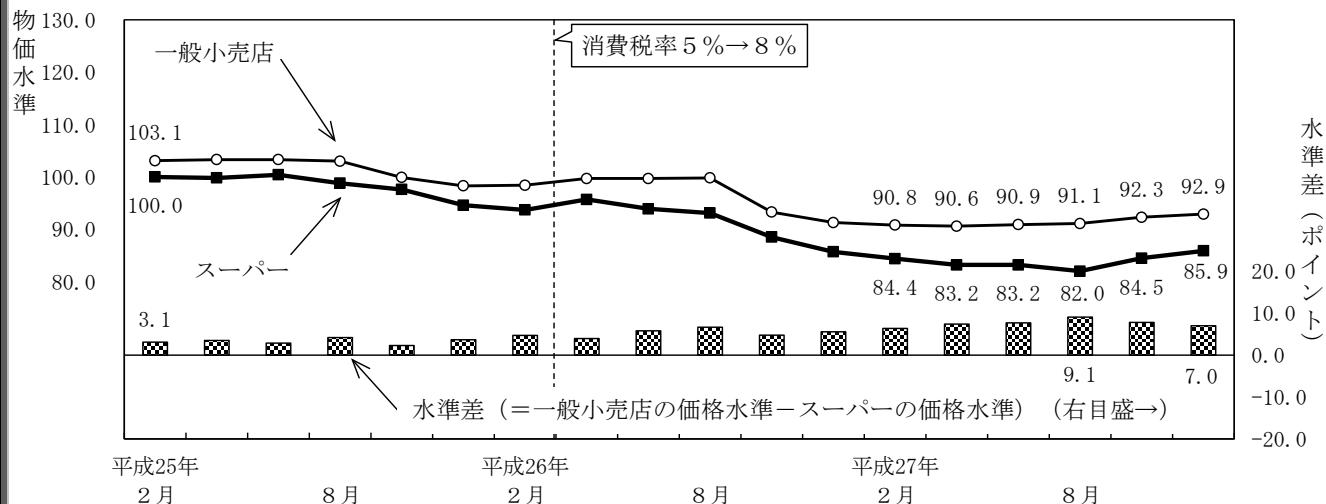
（注1） 価格水準差＝一般小売店の価格水準－スーパーの価格水準

（注2） マイナスの場合は、絶対値での最大値とする。

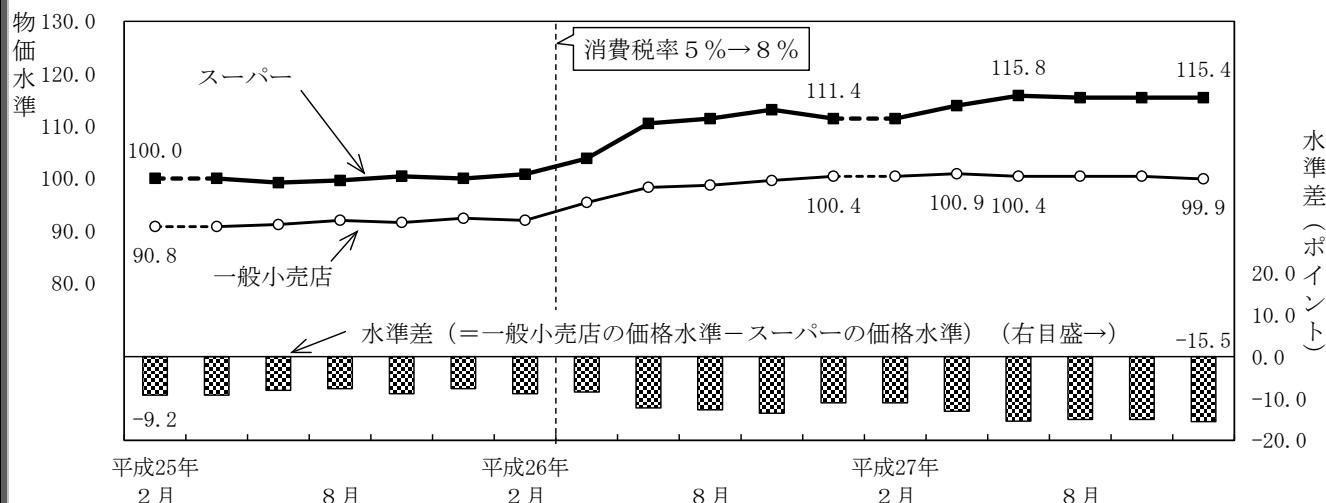
（注3） 平成26年4月に消費税率が5%から8%に改定された。

図2-7 スーパーと一般小売店の価格の動き
(平成25年2月のスーパーの平均価格=100)

<うるち米>

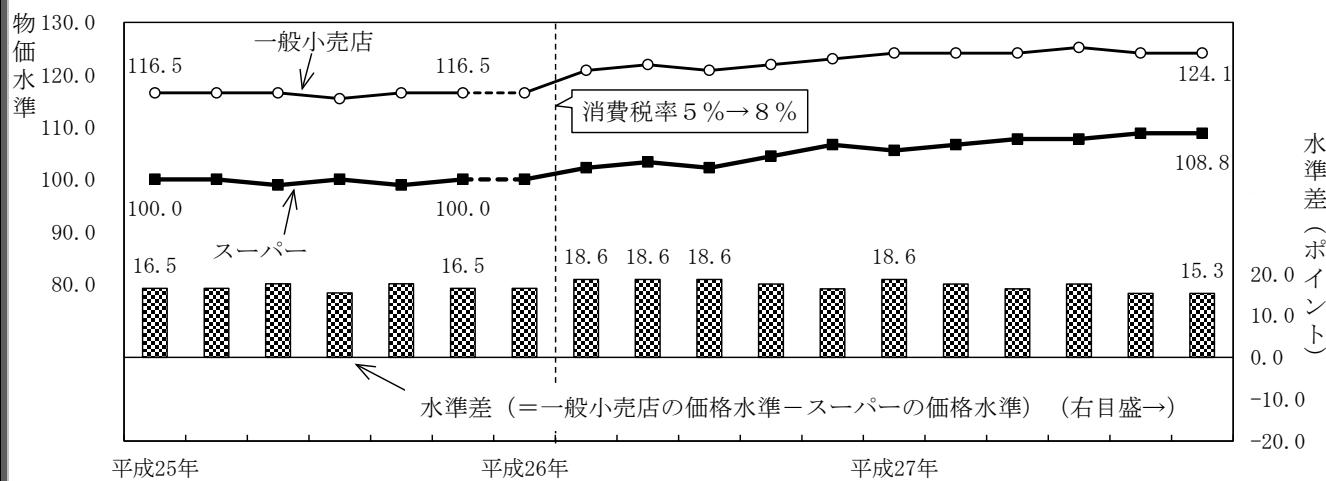


<豚肉>



(注) 25年4月及び27年2月に銘柄改正があったため、前々月と同指標（保合）とし、破線により接続している。

<コロッケ>

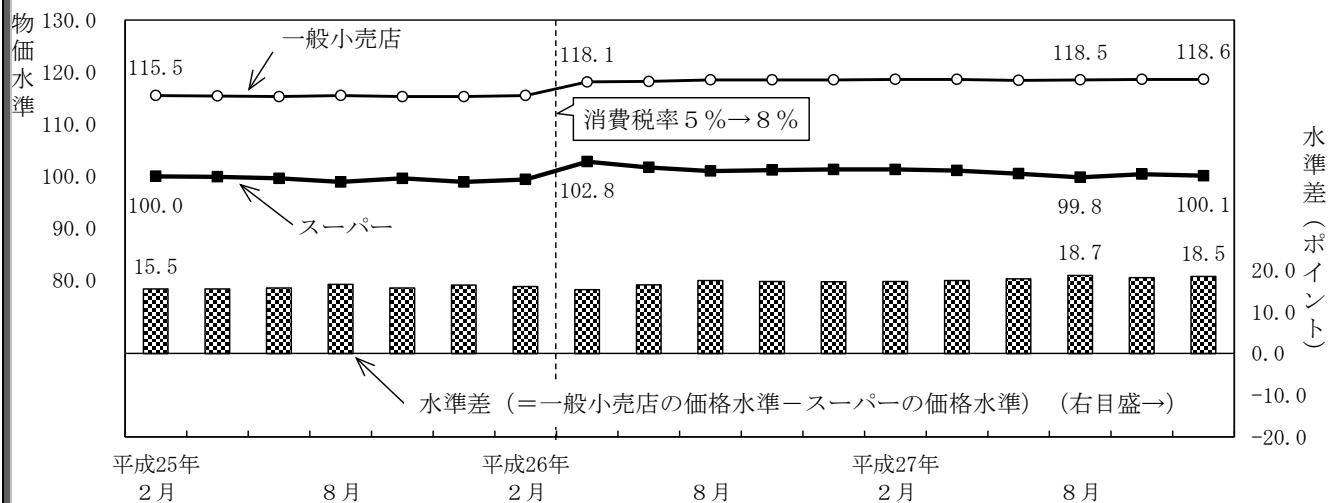


(注) 26年2月に銘柄改正があったため、前々月と同指標（保合）とし、破線により接続している。

図2-7 スーパーと一般小売店の価格の動き（続き）

（平成25年2月のスーパーの平均価格=100）

<ビール>



(2) スーパーと量販専門店の比較

ティッシュペーパーは、スーパー及び量販専門店共に税率改定のあった平成26年4月までは上昇傾向、それ以降はほぼ横ばいで推移している。また、価格水準差^(注4)をみると、27年10月及び12月に-8.6ポイントと最大となっており、スーパーと量販専門店の価格差は拡大傾向にある。

洗濯用洗剤は、スーパー及び量販専門店共に26年2月まではほぼ横ばいで推移した後、同年内は下落傾向となっている。27年は再び横ばいで推移しているが、同年12月は、量販専門店の価格が大きく下落し、スーパーとの価格水準差が-6.5ポイントと最大となっている。

なお、27年12月の価格変動の違いについて、店舗別価格情報により更に詳しくみると、量販専門店は、セール^(注5)を含め、商品の値下げを実施した店舗の割合がスーパーと比較して高かった。このため、量販専門店の価格が大きく下落したと考えられる。

ドリンク剤は、スーパー及び量販専門店共に税率改定時の価格の上昇を除いてはほぼ横ばいで推移している。また、価格水準差をみても、-9.0ポイント前後で安定しており、スーパー及び量販専門店の価格は似た動きで推移している。

紙おむつは、27年始め頃までは、スーパー及び量販専門店共に上昇、下落を繰り返しながら100前後で推移していたが、スーパーは同年6月以降、量販専門店は8月以降下落が続き、12月は、共に過去最低水準（それぞれ96.3, 92.9）となっている。なお、価格水準差は、27年10月に-3.6ポイントと最大となっている。

シャンプーは、スーパー及び量販専門店共に税率改定時の価格の上昇を除いては27年8月まで下落傾向で推移しているが、27年10月及び12月については、量販専門店では下落が続く一方、スーパーでは上昇しており、価格の動きに違いが見られる。この影響により、価格水準差は27年12月に-8.7ポイントと最大となっている。

なお、27年10月の価格変動の違いについて、店舗別価格情報により更に詳しくみると、スーパーは、セールからの値戻しを含め、商品の値上げを実施した店舗の割合が量販専門店と比べて高かった。このため、スーパーの価格が上昇したと考えられる。

(図2-8, 図2-9, 図2-10)

(注4) 価格水準差=量販専門店の価格水準-スーパーの価格水準

(注5) 小売物価統計調査では通常の価格を調査しており、短期間の割引価格等は調査しないが、価格調査日が8日間以上のセール期間に該当していた場合は、調査日の価格としてセール価格を採用している。したがって、ここでの「セール」は、値下げ期間が8日間以上続いたものを指している。

図2-8 スーパーと量販専門店の価格の動き
(平成25年2月のスーパーの平均価格=100)

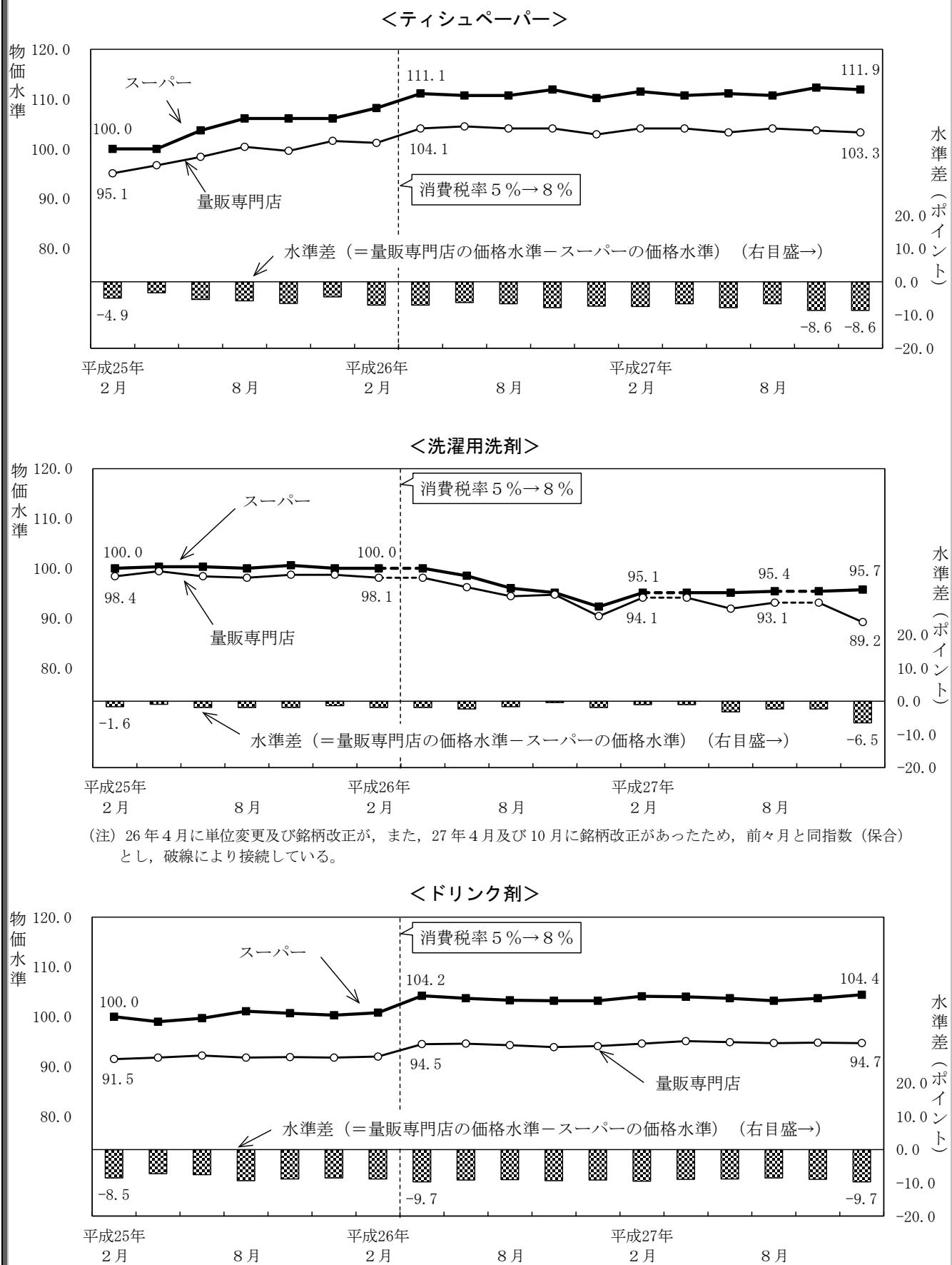
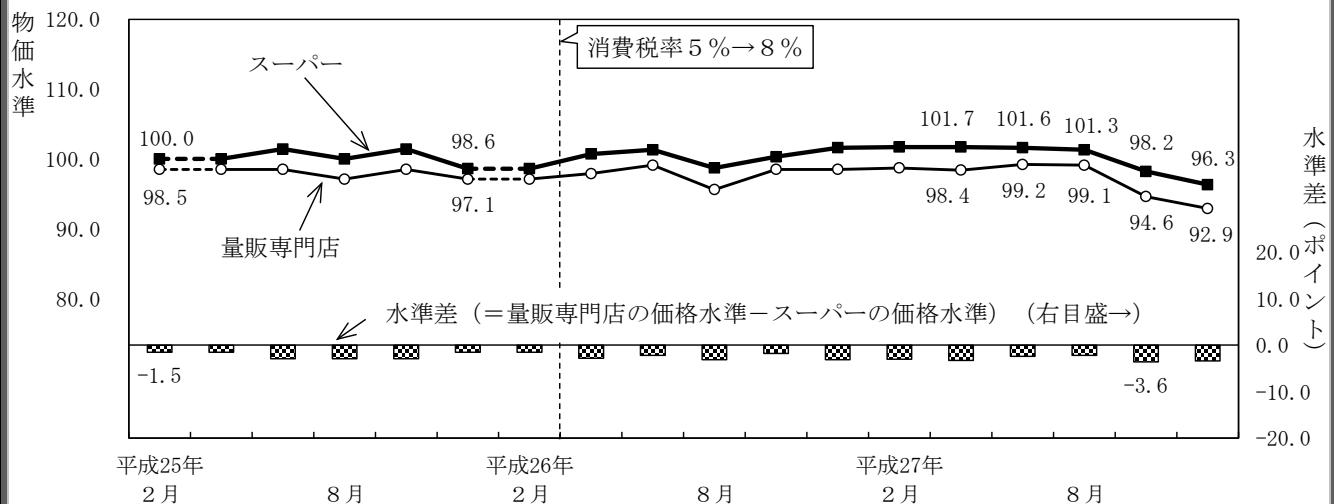


図2-8 スーパーと量販専門店の価格の動き（続き）

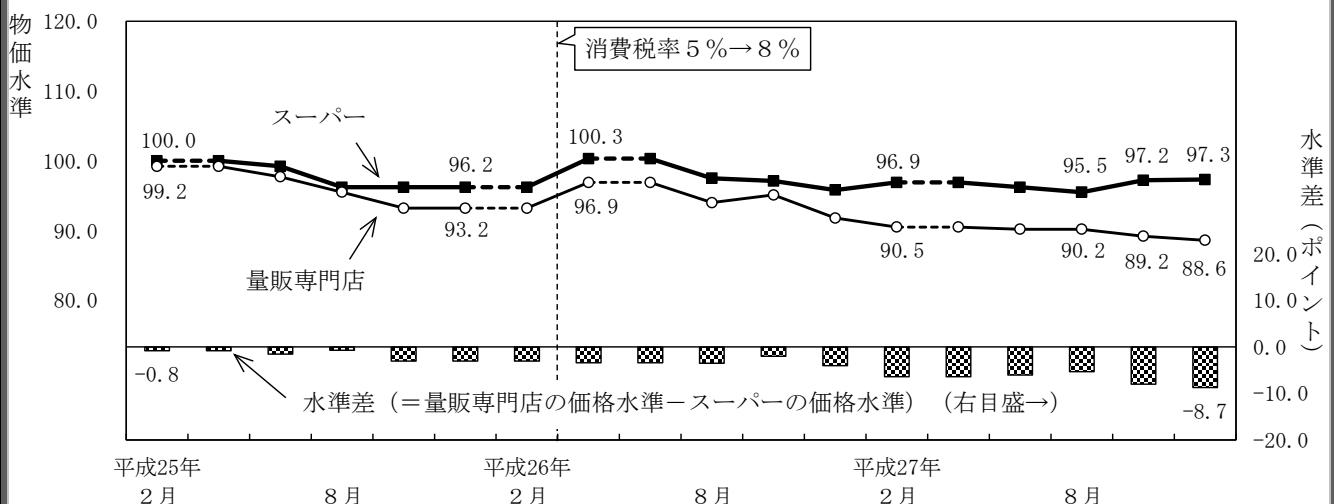
（平成25年2月のスーパーの平均価格=100）

＜紙おむつ＞



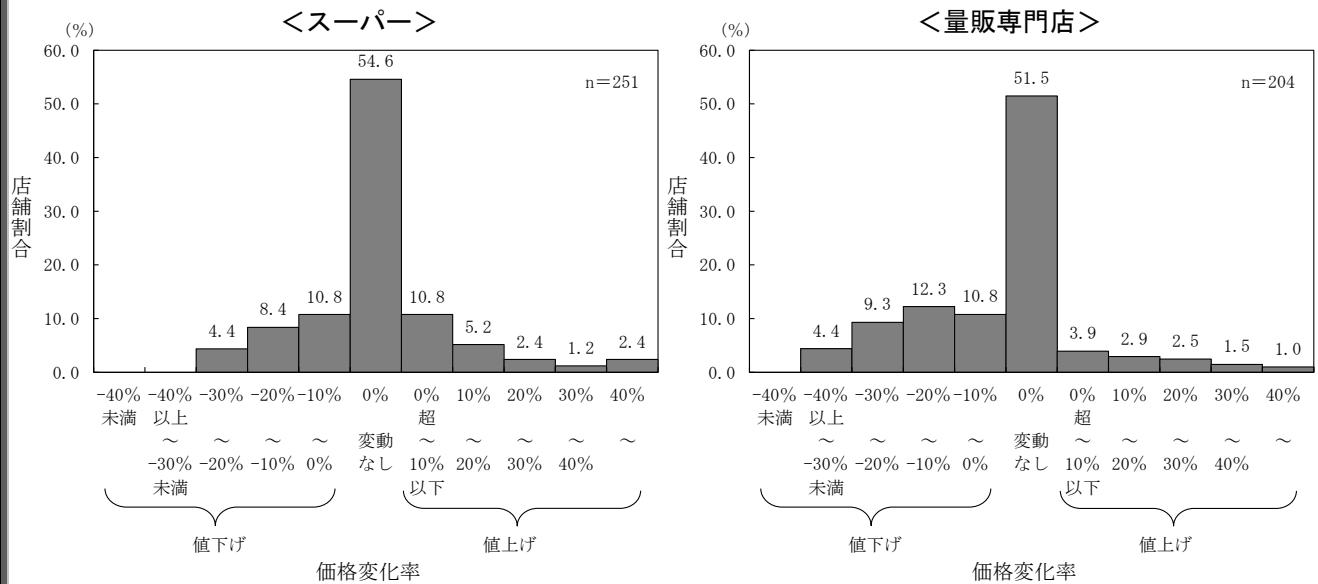
（注）25年4月に単位変更及び銘柄改正が、また、26年2月に単位変更があったため、前々月と同指標（保合）とし、破線により接続している。

＜シャンプー＞



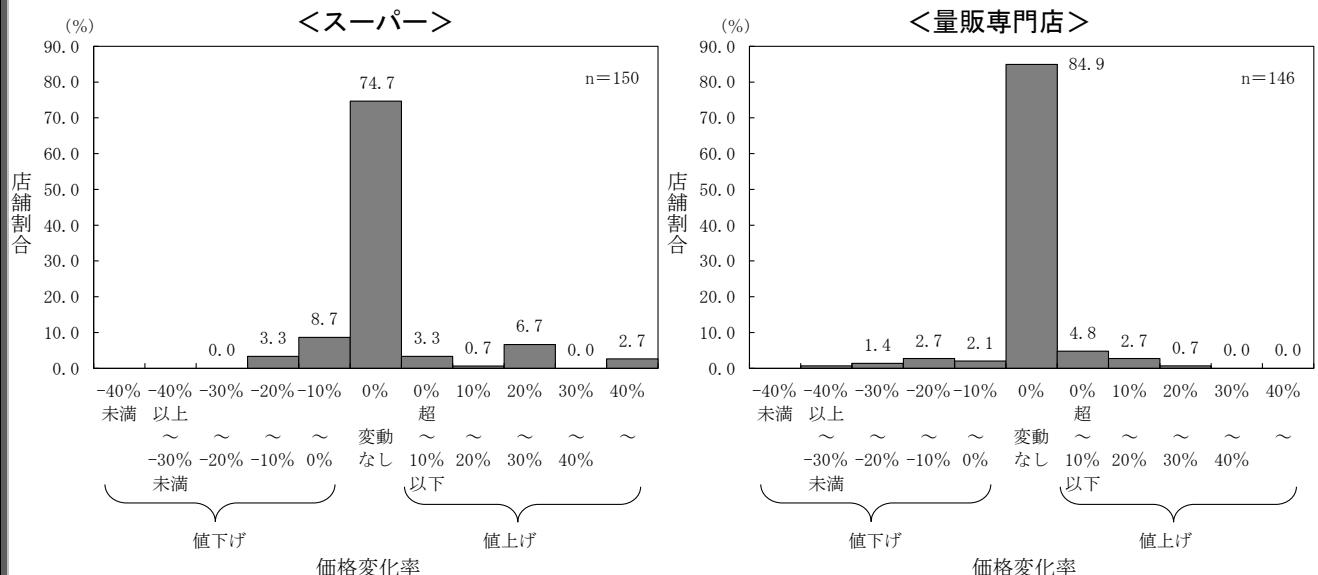
（注）25年4月、26年6月及び27年4月に銘柄改正が、26年2月に単位変更があったため、前々月と同指標（保合）とし、破線により接続している。

図2-9 洗濯用洗剤の平成27年12月の価格変化率別店舗割合



(注) ここでは、平成27年10月及び12月に、同一店舗において同一商品の価格を調査した店舗別の価格情報に限定して価格変化率（10月から12月の価格変化率）を計算している。

図2-10 シャンプーの平成27年10月の価格変化率別店舗割合



(注) ここでは、平成27年8月及び10月に、同一店舗において同一商品の価格を調査した店舗別の価格情報に限定して価格変化率（8月から10月の価格変化率）を計算している。